



■第231号（通巻） 2019年3月11日発行

公益財団法人富山YMCA

〒930-0046 富山市堤町通り1-3-14

TEL: 076 (425) 9001

FAX: 076 (424) 6937

■URL: <http://www.ymcajapan.org/toyama/jp/>■Email: tutumi.kyoyu@toyamaymca.org

■発行人 松田 誠一

言の内に命があった

心に残る一言がその人をこの上なく幸せにすることがあります。私は中学の卒業式の日、本当にお世話になった先生から呼び出しを受けました。先生は私がクラシックのファンになっていった時に、幾度となく一緒にコンサートに連れて行ってくださいました。炭鉱の社宅に育った貧しい私には、とてもありがたいことでした。そして呼び出した先生は、私に一言「これからは友だちとして付き合いおう」という言葉をかけてくださいました。

聖書には「初めに言（ことば）があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらず成ったものは何一つなかった。言の内に命があった。命は人間を照らす光であった。」（ヨハネ1章1～4節）とあります。心に残る一言は、まさに命を吹き込む神様のようなものであると言えます。私たちは、神様である言葉を大切に使っているでしょうか。私の恩師は私のことを本当に愛してくださいました。

「卒業おめでとう」ではなく、これからも付き合い続けることを約束してくれたのです。おそらく意図的ではなく自然な思いを伝えてくださったのだと思います。反対に言葉は時として深く心を傷つける両刃の剣でもあります。心が映し出されるとすれば、やはり言葉は生き物であり、そこに命があるということを、いつも覚えておく必要があります。自分も周りの人も幸せになることを常に願っていたと思います。

卒業式の季節、友だちや家族に対し、感謝の思いを言葉にかえて、心に残る大切な一言を伝えていきたいものです。

2018年度も多くの会員の皆様にご支援いただきありがとうございました。心より感謝申し上げます。新年度もますます多くの人に愛され、必要とされるYMCAを目指します。よろしく申し上げます。

総主事 松田 誠一



ピンクシャツデー報告

2月のタータ&アドベンチャー（野外活動）で子どもたちと一緒にピンクシャツデーについて考えました。前日のミーティングでは、リーダー同士でピンクシャツデーに対する想いを共有しました。様々な想いを聞くことができ、新たな発見もありました。リーダーの士気も高まった瞬間だと感じました。

私はいじめを無くそうというよりも、みんなが思いやりの心をもって温かくなることができたらと考えていました。私のグループは、年中～小学3年生までの子どもたちがいました。年齢によって経験も異なるので、アプローチの仕方は難しかったです。ピンクシャツデーに対してイメージしやすくするために、私が子どもたちと同じ年齢の頃の話をしたり、YMCAでの活動の話をしたり、できるだけ具体的で、身近に感じられるようにしました。どこまで子どもたちの心に届いているかは分かりませんが、考えることに意味があると感じました。話しを聞いた後、子どもたちは自分なりに考えたことを、言葉や絵でピンクのシャツに折った紙にかいて表現してくれ、とても素敵なことだと感じました。今回の活動だけに留まることなく、日頃の生活でも考えるきっかけとなれば嬉しく思います。また、子どもと関わるリーダー自身も考えるきっかけをもらうことができ、良い活動になりました。これからも思いやりの心を大切に活動していきたいです。

茂住 真由（のぶちゃんリーダー）



幼児・小学生英語クラスでは、ピンクシャツWeekとして、全クラスで「やさしい言葉」いろいろを英語で学びました。

POLITE(礼儀正しい) KIND(やさしい) FRIENDLY(好意的な)
COURTEOUS(思いやりがある) HELPFUL(助けになる)
PATIENT(がまん強い) CARING(面倒見がいい)
GENTLE(丁寧に接する) UNDERSTANDING(わかってくれる)
RESPECTFUL(尊敬できる)

これらの言葉から、好きな言葉、こうなりたい言葉を選んで、自分の想いをピンクの紙に書き込みました。

「私は、妹の面倒をみるのが好きだから！」と“HELPFUL”を選び、妹と自分の笑顔を描いた女の子に、「Good Girl!」と先生が声をかけてくれました。



信仰と私

8年前、富山に着任し、富山の風土や人間関係に戸惑い、疲れ果てた時に新庄教会に行き、毎週まるで私の悩みにピンポイントに答えてくれるパーソナルカウンセラーのような坪内牧師の説教が、私の心を支え癒してくれました。藁をもすがら心すべてを受け入れ求めているのだと思います。新庄教会は苦難を乗り越え、著名な僧侶からキリスト教の牧師となった亀谷凌雲によって丁度100年前に建てられました。それゆえ教会は、苦難に打ち勝つ力を秘めているように感じます。67年前に亀谷先生と教会員が富山YMCA設立の発起人として尽力いただいていた歴史も知らずに、ただアパートが一番近いという理由で新庄教会を訪れたという経緯は隠して

おきたいものです。

私は1994年に熊本の植木教会の川村牧師によって澄みきった菊池川で妻と一緒に洗礼を受けました。当時はまだまだ信仰も浅く、土日の業務多忙ということもあり、日曜礼拝は、ほとんど出席できていませんでした。妻の方が教会を支えてくれていました。

今になって考えてみると、私が富山に赴任し新庄教会に行くように神様が仕組まれたのではないかと感じています。また大きなYMCAで働いていた中では、肌で感じ得なかったYMCAの素晴らしさや苦勞も学ぶ必要があったのではないかと感じます。大きな船に乗っていても感じない世の中の波も、小さな船では日々舵取りに必死です。全国、全世界のYMCAの働きを学ぶ中で、歴史ある真のYMCAを学ぶことができたように思います。それゆえ信仰が問われ、神様が、信仰に生きる自分自身の生き方に大きな影響を与えてくださったように思えるのです。

今年度をもって総事を退任いたします。カマキリコラムも今回が最終回となります。

会員、職員すべての方々へ心より感謝いたします。これからも変わらず富山YMCAをご支援いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

主にありて

ごあいさつ

「たくさんの出会いに感謝」

保育園では、「おはようございます」から始まり、毎日たくさんの人と出会い、いろんな事との出会いがあります。子ども達の元気な声や大人との関わり等、毎日が新しく、同じ繰り返しは一日もありません。そんな環境の中で過ごすことが出来た事に感謝しています。

毎年、卒園児には「たくさんの経験や出会いの中で、得意なことや、好きな事を増やして欲しい。」と、思いを伝えるようにしていますが、今は自分自身にあてはめて考えています。今の年齢になっても、やってみたいことや経験してみたいことがたくさんあります。これからどんな出会いがあるのか楽しみもあります。こんな気持ちになれたのも、保育園で過ごすことが出来たからだと感じています。

私も27名の年長児と共に、保育園を卒園します。たくさん子ども達とたくさんの家族の方々との出会いの中で、自分自身が育てられた事に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

萩浦保育園園長 内山政子



ぽかぽか

ふなはし日記

～これは何？～



ふなはしこども園の給食室は、子供の視線の高さの窓ガラスになっていて、調理する姿が子どもたちから見えるようになっています。

未満児さんたちが通ると、調理員が野菜を切っている様子などを興味しんしんに覗いてきてバイバイと可愛らしい小さな手を振っていきます。

以上児さんたちが通ると「あ！ブロッコリーある！」「あ～いい匂い」「今日の給食何け？」と給食やおやつに期待を込めた質問が飛んできます。

子供たちが給食を食べている様子を見に行くと「見て！お皿ピカピカ」「美味しかったよ」と嬉しい言葉をかけてくれたり「〇〇ちゃんね、これ苦手だったんに頑張ったん」と報告してくれる子もいます。

みんなに「食べてくれてありがとう。嬉しい！」と言うと元気いっぱいの笑顔を見せてくれます。

給食の時間が心待ちになるように子供たちと関わりあい、ふれ合いながらこれからもおいしい給食を届けていきたいと思っています。

深谷 京子（調理員）

ふなはしこども園 3・4月行事予定

3月

- 1日(金)ひな祭り会
- 5日(火)給食参観
- 6日(水)お別れ会
- 13日(水)祖父母ありがとうの集い
- 20日(水)むらっ子たいむ
- 23日(土)卒園式
- 25日(月)お話しの会

4月

- 6日(土) 入園式

次号は萩浦保育園です。お楽しみに！

Wai Wai News Board

2018年度日本YMCA ユースボランティア認証者

梅次 弘規 (みっきーリーダー)
村上 寛太 (すかいリーダー)
荒見 真唯 (うちゅリーダー)
四十万 美里 (ありすリーダー)
島 あやめ (ジョセリーダー)
住吉 楓香 (ノイリーダー)
田口 絢子 (らいリーダー)
畑 亜里沙 (まっしゅリーダー)
林 奈央 (らびーリーダー)

今年度は22YMCAから552人がYMCAの担い手、ユースボランティアとして認証され、富山YMCAからは上記の9人がユースボランティアとして認証されました。野外活動やキャンプなどで活躍中のリーダーたちです。今後もみなさんとともに活動できることを楽しみにしています。

●ユースリーダーシップ募金のお願い●

課題を抱えるユースの就労支援プログラムや、国際的な視野をもって国際・地域で活躍できるユースの育成を目的とした国内外でのスタディツアーなど、これからの社会を担う若者育成のプログラムを行っております。ユースリーダー育成へのご支援として募金を受け付けております。詳しくは、各センター・園の窓口でお尋ね下さい。

▼新年度クラス申込みのご案内▼

3月末までにお手続きをお願いいたします！

- 3月中に継続されると 校費20%割引
- 3月中に新規入会されると 入会金無料
- ご兄弟で各々1クラス、お一人で通年クラスを2クラス以上同時受講で 授業料10%割引
- ご紹介して頂いたお友達が入会されると
お友達、ご紹介者共に図書券(千円)プレゼント

会員消息

訃報

3月2日、賛助会員の小中輝子さんが天に召されました。生前は、市民クリスマスの聖歌隊やイングリッシュ・カフェに参加され、朗らかな笑顔で周囲を明るくしてくださいました。生前のお交わりに心から感謝し、ご家族様の平安をお祈りいたします。

■3・4月の活動のご案内■

野外 タータ&アドベンチャー

4/21 (日) 内容未定
→詳細は担当(中川・田中)までお尋ねください。

ウェルネス

3/15 (金) サッカークラス無料体験レッスン
3/23 (土) 体操クラス無料体験レッスン
@堤町本館

4/13 (土) 新年度クラス スタート

語学

3/19 (火) & 3/23 (土)
こども英会話 無料体験レッスン@堤町本館

3/22 (金) & 3/23 (土)

こども英会話 無料体験レッスン@駅前センター

4/13 (土) 新年度クラス スタート

フリースクール

3/20 (水) 卒業式
4/15 (月) 新年度クラス スタート

Y's さくらカフェ

◆3月ランチ定食メニュー (700円)

※ランチは毎週火曜日のみ
+100円で飲み物(コーヒー・紅茶・ハーブティ)がつきます。

5日 鮭フライトマトソースかけ カレー煮
大豆てんぷら みそ汁

12日 とりささ身カレーピカタ 油麩の煮物
大根きんぴら みそ汁

◆イングリッシュカフェ (木) 14:20~15:20

一般1,500円、会員1,200円

外国人講師と楽しい英会話をお楽しみください。
要予約: 076-431-5588 (駅前センター受付)

ふ・ふ・ふ フリースクール No.34

4階にある丸いテーブルはみんなが集まる場所である。お腹がすいた子どもたちが“こぼら”を満たす場所でもある。ある日のこと。

塩味のカップ焼きそばとキムチ味のラーメンそれにポテチを食べていた男の子達。教室では授業が行われている最中、複雑なおいが漂い始める。時には、カレーを食べる子もいるし、UFOを食べる子もいる。いずれもなかなかの匂いだ。「私もお腹がすくから止めて」と思うのだがしょうがない。早く春の香りを楽しみたいと願うばかりである。

(小田)